

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<u>三豊市家庭教育支援チーム</u> (呼称: @みとスタ) URL: https://www.city.mitoyo.lg.jp/kakuka/kyouikuiinkai/shogai/9/3/index.html
②活動拠点	三豊市市民交流センター、三豊市総合体育館など
③活動範囲	三豊市全域
④組織体制	<u>13</u> 人 (三豊市公民館職員、大学教授、託児ボランティアスタッフ)
⑤活動開始年度	<u>2012</u> 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 三豊市公民館(三豊市生涯学習課内) 中原優季 (TEL)0875-73-3135 (E-mail)shougaiyakushu@city.mitoyo.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L { <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) } <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>○『みとよ kids スタジオ』の開催</p> <p>昨今、子どもたちの遊び方が多様化したことで、身体を使って遊ぶ時間が減り、その楽しさを知らない保護者や子どもが増えている。そこで、当市公民館では幼児期の運動遊びの重要性や親子の関係性に注目し、子どもたちの社会性を育む活動及び家庭教育支援活動の一環としてこの講座を継続している。</p> <p>毎月1回土曜日に開催し(年間11回)、4・5歳児とその保護者約45組が参加している。主な活動内容は親子運動遊び、サーキット遊び、読み聞かせなどである。親子運動遊びでは保護者の身体をよじ登ったり、トンネルくぐりをしたり、親子が触れ合える遊びを必ず取り入れ、家庭に持ち帰って日常的に遊んでもらえる内容としている。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>親子運動遊びを必ず取り入れることで、子どもとの関わり方が分からない保護者に対して具体的な支援をすることが出来ている。</p> <p>特に、就学前園児対象の活動であることから、保護者の就学に対する悩みや不安に寄り添える公民館活動としてもニーズがある。これまでの活動を通して保護者から「育児の情報交換が出来た」、「わが子との関わり方に不安があったが、職員の人と話すことで悩みが解決出来た」などの声があり、公民館が家庭教育支援の役割も担っていると言える。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>